

ネパール政治ニュース (18年7月) ヘッドライン

政 治	
内政	<p>(1) 6日、第4州の州議会は、州の名前をガンダキと決定した。</p> <p>(2) 18日、ネパール कांग्रेस党 (NC) は、医学教育法案 (Medical Education Bill) を国会に提出するならば、議会運営手続きを妨害すると警告した。</p> <p>(3) 18日、法務・司法・議会担当省は、各省の次官レベルを招集し、基本的人権に関する法案を7日以内に提出するよう求めた。憲法は、基本的人権に関する31の法案を2018年9月19日までに国会に提出することを定めているものの、現時点までに提出された法案はない。</p> <p>(4) 18日、新会計年度を受け、地方政府は、解散された18の郡行政組織の業務を引き継ぐことになった。郡行政組織には、教育事務所、郡森林事務所、農業開発事務所などが含まれる。しかし、地方政府は、人材及び資金不足を理由にこれらの行政サービスを提供するに至っていないと述べた。</p> <p>(5) 19日、オリ首相はガンダキ州議会に出席し、1時間10分に渡る特別演説を行った。その中で、オリ首相は、鉄道及び水路事業を確実に実施することを強調した。医学教育法案に関しては、ネパール人学生の海外流出を抑制するためにも、国内に医科大学を増加させる必要があると訴えた。</p> <p>(6) 20日、内務省は全国にある公共交通機関組織の登録を7月14日付で破棄したと発表した。各組織の銀行口座は、7月14日から35日以内に凍結される。この間、乗客が事故で負傷した際の治療費、被雇用者への給与、水及び電気代の支払いのみ引き出しが許可される。</p> <p>(7) 22日、第36回BPコイララ氏の追悼記念日に際し、さまざまな行事が開催された。故BPコイララ氏はネパール कांग्रेस (NC) で初めて選挙で選ばれた首相である。ラム・バラン・ヤダブ前大統領は式典に参加し、現在ネパールが直面している様々な問題について、憲法に依る解決策を模索すべきと述べた。</p> <p>(8) 24日、シェル・バハドゥル・タマン法務・司法・議会担当大臣が辞任した。同大臣は、先週、バングラデシュで医学を専攻する女子生徒が学位取得のために売春をしなければならないと発言し、各方面から批判の聲が上がっていた。</p> <p>(9) 26日、政府はバンドリ大統領に対し、プルナ・チャンドラ・タパ中將を国軍参謀総長代理に推薦することを決定した。</p> <p>(10) 26日、Dr. KCは27日間に亘る医学教育法案に反対するハンストを終了し、政府は同氏との間で9項目の合意を行う予定となった。</p>
外交	<p>(1) 3日、ネパール政府は、UNDPの国会支援事業 (約6.5億ルピー) を拒否</p>

	<p>した。</p> <p>(2) 3～13日、ラジェンドラ・チェトリ国軍参謀総長は、ミャンマー及び中国を公式訪問した。</p> <p>(3) 6日、カトマンズにおいて、第55回SAARCプログラム委員会が開催された。</p> <p>(4) 10～11日、ギミレ商業次官率いる代表団は、北京において、ネパール・中国の通過・輸送協定の実施議定書（TTA）について協議を行った。</p> <p>(5) 7日、ネパール政府は、国連プロジェクトサービス機関（UNOPS）のアジア地域事務所をネパールに設置することを拒否した。</p> <p>(6) 9日、ネパール政府は、フィリピン人男性とその妻のインドネシア人女性をネパール人に対する改宗を強制したとして国外退去処分した。</p> <p>(7) 15日、中国人男性は金600グラムを密輸したとして、強制送還された。</p> <p>(8) 15日、英国軍はネパール人女性の採用を計画しており、実現すれば2020年春にネパール女性が英国での軍人研修に参加することになる。</p> <p>(9) 16日、Shi Jun中国公安部副部長はラム・バハドゥル・タパ内務大臣を表敬した。</p> <p>(10) 17日夜、チベット人2名及び中国人1名は、タトパニ国境から中国に入国しようとしたところ逮捕された。</p> <p>(11) 18日、ゴカルナ・ビスタ労働・雇用・社会保障大臣は、アルハイル駐ネパール・カタール首長国大使との会談において、カタールにおけるネパール人労働者の安全と権利保護に関し懸念を表明した。</p> <p>(12) 18日、ネパール・インド監視メカニズム第6回会合が、カトマンズにて行われ、二国間の経済・開発プロジェクトの実施の進捗をレビューした。</p> <p>(13) 23～8月1日、プラディープ・クマル・ギャワリ外務大臣は、ポルトガル、ベルギー、ルクセンブルグを訪問した。</p> <p>(14) 23日、第4回ネパール・韓国二国間協議が韓国で行われた。</p> <p>(15) 25日、ギャワリ外務大臣は、ポルトガルのオーガスト・サントス・シルバ外務大臣と会談した。</p> <p>(16) 26日、ギャワリ外務大臣は、ブリュッセルに到着し、同日ディディエ・レンデルス・ベルギー副首相兼外相と外相会談を行った。</p> <p>(17) 29日、Wang Yajun 中国共産党国際部副部長は、オリ首相を表敬訪問した。</p> <p>(18) 30日、ネパール社会福祉評議会は、国際交流のための中国 NGO ネットワークと中国の NGO がネパールで活動するための覚書を交わした。これによって、30の中国の NGO がネパールの草の根レベルで活動することになる。</p> <p>(19) 30日、ダハル・ネパール共産党共同議長は、Wang Yajun 国際部副部長と会談した。</p> <p>(20) 30日、ギャワリ外務大臣は、ルクセンブルグにおいて、ロマン・シ</p>
--	---

	<p>ユナイター協力・人道支援大臣と会談した。</p> <p>(21) 30日、バイラギ外務次官と U Myint Thu ミャンマー外務次官は、ネパールとミャンマー両国間の二国間協議メカニズムに関し覚書を交わし、事後同メカニズム第1回会合を実施した。</p>
--	--